

## サンゴ礁年関連イベント（東アジアのシンポジウム）について

### 東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム 2008（仮称） 企画案

国際サンゴ礁年における石西礁湖自然再生事業の一環として、東アジア周辺諸国のサンゴ礁に関わっている専門家を招いてシンポジウムを開催し、石西礁湖自然再生に有益な情報を得るとともに、今後の関係強化、情報共有を進めていくことを目的とする。

#### ○コンセプト

テーマ：「東アジア海域におけるサンゴ礁保全対策の現状と課題」

各国でのサンゴ礁保全の取り組みの現状と課題を紹介してもらい、国際的な保全の取り組みや調査研究・情報共有の必要性などをディスカッションする。

例) 黒潮潮流等による相互の関連性も念頭に、サンゴ幼生の移動状況や遺伝的なつながりに関する調査研究、オニヒトデによる食害や白化・病気のモニタリング体制、それらに関する対策の連携などについて、各講演者の報告をもとに議論を行う。

#### ○プログラムの流れ

各国代表の講演→パネルディスカッションの2部構成

#### ○主な対象：

石西礁湖自然再生協議会メンバー及び関係者（ステークホルダー）とする。  
ただし、テーマに関心のある一般の方々にとっても敷居の高くないシンポジウムを心がける。

#### ○ゲスト案：

日本 野島先生（九州大学）  
台湾 Dai 先生（国立台湾大学）  
フィリピン Dr. Miguel D. Fortes（フィリピン大学）  
フィジー Prof. Randy Thaman（南太平洋大学）

#### ○開催時期：

以下の関連行事の日程及び今後の準備を考慮すると10～11月が妥当。  
・7月7日～11日：第11回 国際サンゴ礁シンポジウム（米国・フロリダ）  
・11月22日～24日：日本サンゴ礁学会 第11回大会（日本・静岡）